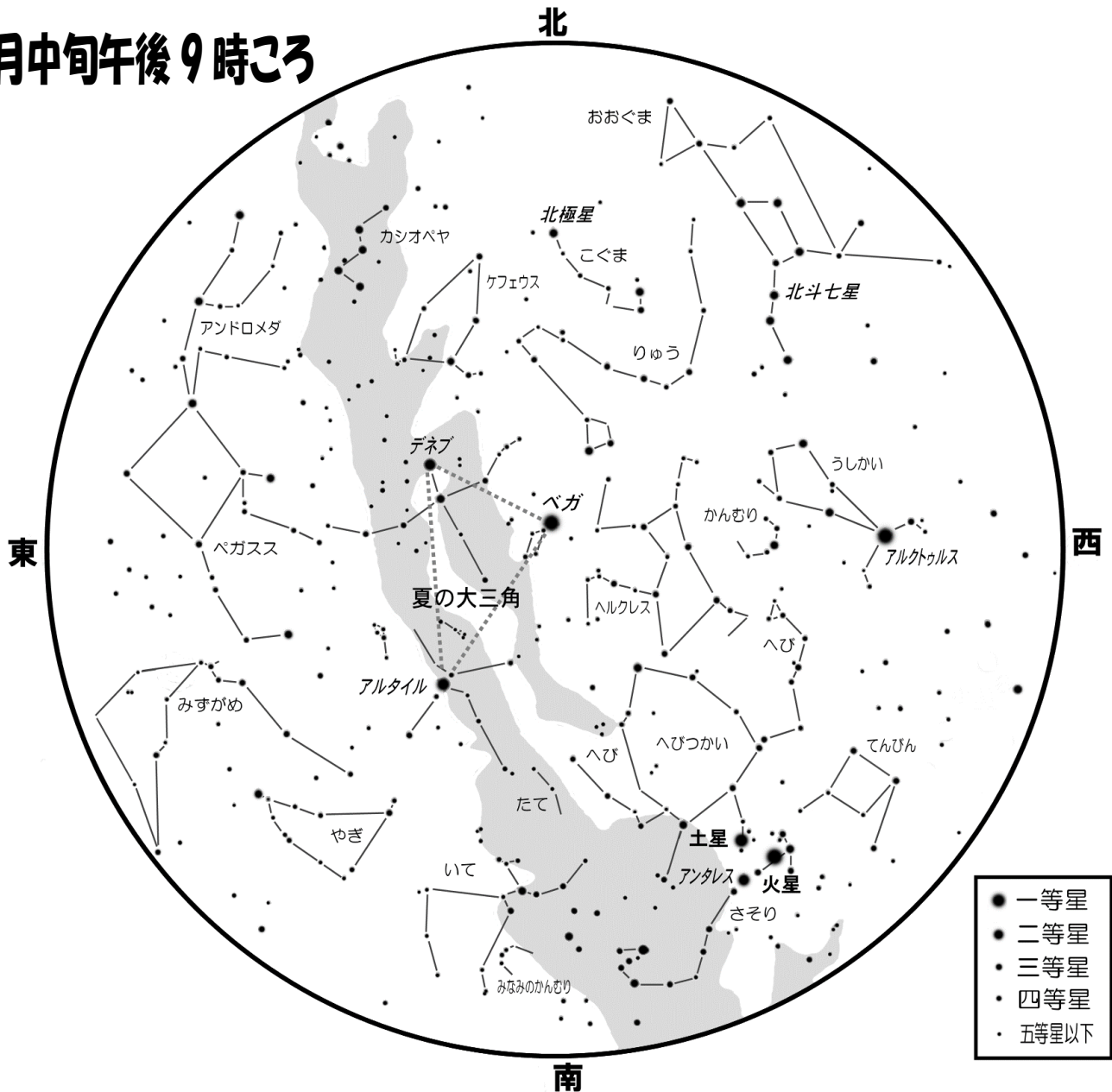


# 阿南市科学センター 8月の星空案内

8月中旬午後9時ころ



8月の夜空は**夏の大三角**や、**さそり座**など、見つけやすい星の並びや星座も多く、また時期的に好天が続きやすいことから、継続しての星座観察を行うにはたいへん適していると言えます。

今年はそんなさそり座付近に、明るい火星と土星が見え、例年より少しだけ華やかな夏の夜空となっています。火星は5月末の最接近の頃と比べると小さくはなりましたが、まだまだ観測は可能で、土星はこの夏休み中は観測の好機となっています。火星はこれからますます地球から遠ざかっていきますし、土星も西の空に低くなり観測が難しくなりますから、そういう意味では、この2つの惑星に関しては、この夏休み期間中が今年最後の観測のチャンスとも言えるでしょう。

ぜひ、夏休み期間中には科学センターの天体観望会に参加して、これら2つの惑星をご自分の目で確認してみましょう。

天体観望会のご予約、お問い合わせは

阿南市科学センター 徳島県阿南市那賀川町上福井南川洲 8-1 電話 0884-42-1600

# 8月の月と惑星

月の満ち欠け

月の形	●新月	◐上弦の月	○満月	◑下弦の月
見える日	3日	11日	18日	25日

惑星

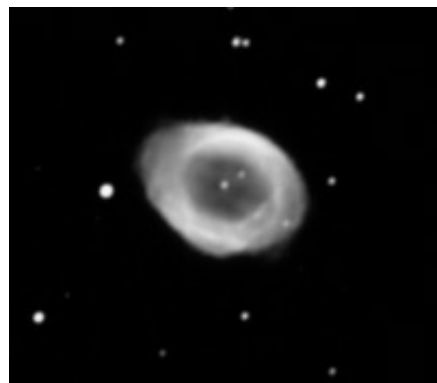
	水星 ●	金星 ●	火星 ●	木星 ●	土星 ●
上旬～中旬	日没後、西の超低空に見える (明るさ -0.1→0.5等級)	日没後、西の超低空に見える (明るさ -3.9等級)	夜9時ごろ、 南西の空に見える (明るさ-0.8→-0.3等級)	日没後、 西の低空に見える (明るさ-1.7等級)	夜9時ごろ、 南西の空に見える (明るさ0.1→0.2等級)
下旬	太陽に近く観察は難しい				

## 天文館夜間天体観望会 8月の見もの天体

### ○こと座のドーナツ星雲「M57」

今月の夜間天体観望会では、天の川沿いに点在する星雲星団などを中心として天体を見ていきますが、現在、その中のひとつ、こと座のM57が頭のほぼ真上でたいへんきれいに見えています。この星雲は、天体望遠鏡で観察すると、真ん中にぽっかりと穴が空いたように見え、まるでドーナツのような形をしているところから、「ドーナツ星雲」という名称でも知られている天体です。なぜ、このような形になったかと言いますと、真ん中にある星がその死期を迎え、周りに星の内部にたまったガスを放出したことから、このような不思議な形となりました。

もし、太陽が死期を迎えると、このM57と同じように、惑星状星雲になると考えられています。



### 今月の天文現象

#### 8月12日（金） ペルセウス座流星群

8月12日の夜から13日に明け方にかけて、ペルセウス座流星群がピークを迎えます。この流星群は、毎年安定して見られる流星群で、夜空の暗いところでは1時間あたり50個程度、夜空の明るい市街地でも、数個程度の流れ星が見られます。今年は夜半ごろまで半分ほど欠けた月が西の空にあるものの、月が沈んだ後の深夜から明け方にかけては絶好の条件で流星群を見ることができます。

このペルセウス座流星群の観察方法ですが、流星は左の図のようにペルセウス座近くにある「放射点」と呼ばれるところから流星が



8月12日午後11時頃北東の空

四方八方に飛び出すように見えます。もちろん、流れ星はいつ、どちらの方向に飛ぶかわかりません。そのため、「ペルセウス座流星群」と言っても、ペルセウス座の方向だけを見るのではなく、地面に寝転がるなどして、できるだけ空の広い範囲を眺めるようにしましょう。

なお、今年のピークの予想時間は午後9時頃とされていますが、これはあくまでも予想です。よって、観察結果から正確なピークの時間を割り出してみるのも面白いかもしれません。観測方法の例として、午後9時から10時までには〇個、10時から11時までには〇個というように、明け方4時くらいまで1時間ごとに流れた流星の数をカウントすれば、何時ごろが一番多かったかがわかり、夏休みの自由研究の良いテーマともなるでしょう。

ただし、この観測には一晩中の観察が必要ですから、チャレンジする場合は、ご家族の方と一緒に観察するようにして下さい。

天体観望会のご予約、お問い合わせは

阿南市科学センター 徳島県阿南市那賀川町上福井南川洲 8-1 電話 0884-42-1600